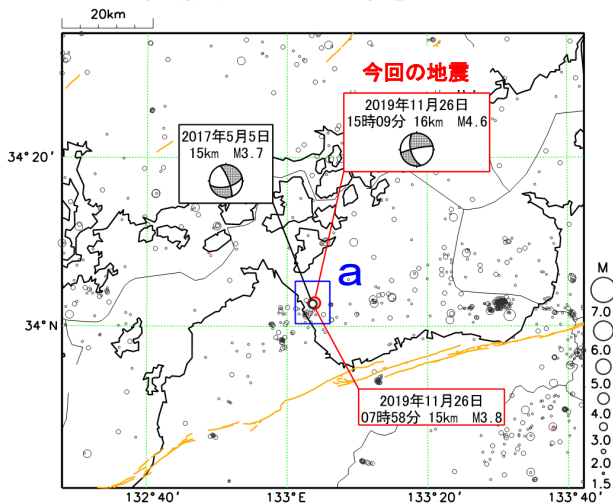


11月26日 瀬戸内海中部の地震

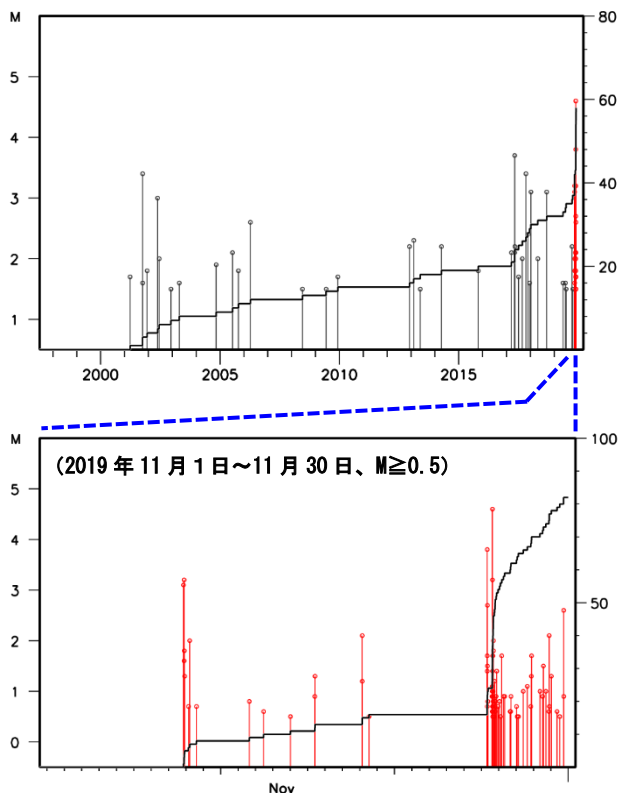
震央分布図

(1997年10月1日～2019年11月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.5$)

2019年11月の地震を○で表示、
橙色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す)



領域a内のM-T図及び回数積算図



2019年11月26日15時09分に瀬戸内海中部の深さ16kmでM4.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、26日07時58分にも今回の震源とほぼ同じ場所でM3.8の地震（最大震度3）が発生した。

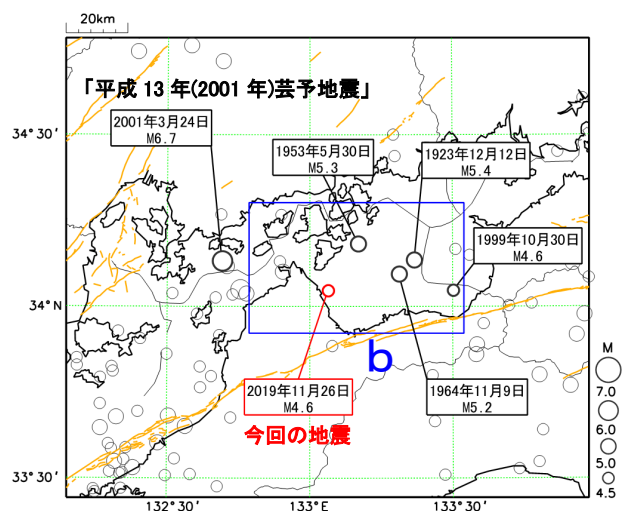
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M3.0程度の地震が時々発生している。また、2017年頃より地震活動がやや活発になっている。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0程度の地震が時々発生している。1999年10月30日にはM4.6の地震が発生し、最大震度4を観測した。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)

2019年11月の地震を○で表示、
橙色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す)



領域b内のM-T図

